



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月3日

上場会社名 ユアサ・フナシヨク株式会社
 コード番号 8006 URL <https://www.yuasa-funashoku.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 共之
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 黒坂 幸夫
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 047-433-1212

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	84,107	1.1	872	△38.1	1,055	△34.4	727	△32.4
2019年3月期第3四半期	83,184	0.2	1,410	△3.2	1,608	△0.4	1,076	18.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 874百万円 (18.7%) 2019年3月期第3四半期 736百万円 (△50.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	161.79	—
2019年3月期第3四半期	239.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	56,909	31,175	54.1	6,844.88
2019年3月期	54,312	30,753	55.9	6,751.07

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 30,759百万円 2019年3月期 30,340百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	100.00	100.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	1.3	1,600	△13.1	1,800	△13.7	1,200	2.7	267.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	4,897,723 株	2019年3月期	4,897,723 株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	403,909 株	2019年3月期	403,487 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	4,494,119 株	2019年3月期3Q	4,494,626 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、企業業績や雇用環境の改善により緩やかな回復を続けましたが、米中貿易摩擦の動向や日韓関係の悪化などの影響が懸念され、景気の先行きは不透明な状況にありました。

食品流通業界におきましては、個人消費が伸び悩むなか、消費者の低価格志向は継続しており、企業間競争は一段と厳しい状況が続きました。

ビジネスホテル業界におきましては、訪日外国人が減少傾向に転じるなか、都心部においては競合するホテルの開業が相次ぐ状況が続きました。

このような状況のなかで、当社グループは引き続き、地域に密着した営業を展開するとともに、商事部門では物流の効率化、ホテル部門では客室のリニューアルなどを行ってまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比9億23百万円増加し841億7百万円（前年同期比1.1%増）となりましたが、販売競争の激化により主に販売費が増加したことに伴い、営業利益は8億72百万円（前年同期比38.1%減）、経常利益は10億55百万円（前年同期比34.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億27百万円（前年同期比32.4%減）となりました。

事業別セグメントの概況

① 商事部門

商事部門につきましては、消費者の節約志向が継続するなか、消費税増税の影響もあり年末商戦に盛り上がりが見られませんでした。また、台風、大雨等の自然災害の影響を受けた地域もありました。

このようななかで、商品供給を的確に行うとともに、新規取引の獲得、新商材の提案などを積極的に行ってまいりました。

部門別の売上高は、食品では、引き続き加工食品、酒類が順調に推移したことにより増収となりました。また、酒類は消費税増税前の駆け込み需要後も堅調に推移しました。業務用商品では、小麦粉が販売数量の増加に加え、販売価格が上昇したことにより増収となりました。飼料畜産では、飼料は養豚、養鶏の生産者向けの販売が堅調に推移しましたが、畜産は成豚集荷頭数、食肉販売とも低調に推移したことにより前年同期並みとなりました。米穀では、家庭用精米、業務用精米の販売が低調に推移しましたが、玄米販売が順調に推移したことにより増収となりました。

その結果、商事部門の売上高は804億48百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益は7億13百万円（前年同期比33.7%減）となりました。

② ホテル部門

ホテル部門につきましては、都心部においては、競合ホテルの新規出店に加え、民泊などホテル業以外の宿泊施設の利用が高まるなか、客室単価、稼働率の確保に努めました。また、2018年11月30日に新規オープンしたパールホテル新宿曙橋も順調に推移しました。

その結果、ホテル部門の売上高は34億99百万円（前年同期比10.5%増）、営業利益は6億67百万円（前年同期比9.7%増）となりました。

③ 不動産部門

不動産部門につきましては、前期8月まで計上したJR船橋駅前ビルの賃貸契約終了に伴う賃料相当額がなくなったことから、売上高は1億59百万円（前年同期比53.7%減）、営業利益は1億52百万円（前年同期比49.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ25億97百万円増加し569億9百万円となりました。主な内容は現金及び預金の増加4億54百万円、受取手形及び売掛金の増加17億1百万円、商品及び製品の増加6億62百万円、原材料及び貯蔵品の減少3億18百万円などによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ21億75百万円増加し257億33百万円となりました。主な内容は支払手形及び買掛金の増加20億32百万円などによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億21百万円増加し311億75百万円となりました。主な内容は利益剰余金の増加2億77百万円、その他有価証券評価差額金の増加1億26百万円などによるものです。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは10億57百万円（前年同期比3億97百万円の収入減）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益10億49百万円などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは△2億36百万円（前年同期比1億30百万円の支出減）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出△1億89百万円などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは△3億58百万円（前年同期比9億22百万円の支出減）となりました。これは主に配当金の支払額△4億49百万円などによるものです。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物四半期末残高は前連結会計年度末から4億60百万円増加し80億10百万円（前年同期比3億65百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年11月6日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,596	8,051
受取手形及び売掛金	14,212	15,913
商品及び製品	1,416	2,078
仕掛品	27	33
原材料及び貯蔵品	899	580
未収入金	3,682	3,730
その他	82	88
貸倒引当金	△17	△22
流動資産合計	27,899	30,454
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,246	13,329
減価償却累計額	△9,558	△9,788
建物及び構築物(純額)	3,688	3,541
機械装置及び運搬具	1,838	1,832
減価償却累計額	△1,492	△1,503
機械装置及び運搬具(純額)	346	328
土地	10,405	10,382
その他	1,571	1,644
減価償却累計額	△1,232	△1,272
その他(純額)	338	371
有形固定資産合計	14,778	14,624
無形固定資産		
ソフトウェア	30	90
その他	94	87
無形固定資産合計	125	178
投資その他の資産		
投資有価証券	8,709	8,873
長期貸付金	272	254
繰延税金資産	12	9
差入保証金	2,440	2,437
その他	208	287
貸倒引当金	△135	△211
投資その他の資産合計	11,508	11,651
固定資産合計	26,412	26,454
資産合計	54,312	56,909

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,411	19,444
短期借入金	2,208	2,406
未払法人税等	200	69
賞与引当金	70	18
ポイント引当金	11	12
その他	1,769	1,841
流動負債合計	21,671	23,792
固定負債		
社債	5	—
繰延税金負債	623	698
退職給付に係る負債	718	672
役員退職慰労引当金	6	7
長期未払金	27	26
環境対策引当金	12	12
その他	493	523
固定負債合計	1,886	1,941
負債合計	23,558	25,733
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,599	5,599
資本剰余金	5,588	5,588
利益剰余金	17,359	17,637
自己株式	△873	△875
株主資本合計	27,673	27,949
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,728	2,854
退職給付に係る調整累計額	△61	△45
その他の包括利益累計額合計	2,667	2,809
非支配株主持分	412	415
純資産合計	30,753	31,175
負債純資産合計	54,312	56,909

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	83,184	84,107
売上原価	74,027	74,879
売上総利益	9,156	9,227
販売費及び一般管理費	7,746	8,355
営業利益	1,410	872
営業外収益		
受取利息	13	12
受取配当金	162	175
その他	41	32
営業外収益合計	216	220
営業外費用		
支払利息	16	13
持分法による投資損失	—	17
その他	1	6
営業外費用合計	17	37
経常利益	1,608	1,055
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1
固定資産売却益	—	5
特別利益合計	—	6
特別損失		
固定資産処分損	13	12
減損損失	0	—
環境対策費	10	—
特別損失合計	23	12
税金等調整前四半期純利益	1,585	1,049
法人税、住民税及び事業税	404	299
法人税等調整額	102	16
法人税等合計	507	315
四半期純利益	1,077	733
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,076	727

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,077	733
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△361	124
退職給付に係る調整額	20	16
その他の包括利益合計	△340	140
四半期包括利益	736	874
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	735	869
非支配株主に係る四半期包括利益	1	4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,585	1,049
減価償却費	380	407
減損損失	0	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△55	△51
持分法による投資損益(△は益)	△1	18
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3	△22
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	0	0
長期未払金の増減額(△は減少)	△2	△0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	11	80
受取利息及び受取配当金	△175	△187
支払利息	16	13
有形固定資産除売却損益(△は益)	13	12
売上債権の増減額(△は増加)	△2,511	△1,700
たな卸資産の増減額(△は増加)	△233	△350
その他の資産の増減額(△は増加)	△610	△128
仕入債務の増減額(△は減少)	3,355	2,032
その他の負債の増減額(△は減少)	177	117
その他	△82	7
小計	1,870	1,300
利息及び配当金の受取額	170	186
利息の支払額	△16	△13
法人税等の支払額	△569	△415
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,455	1,057
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△410	△189
有形固定資産の除却による支出	△8	△15
投資有価証券の取得による支出	△5	△3
投資有価証券の売却による収入	1	1
貸付金の回収による収入	18	18
その他	37	△48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△367	△236
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△643	210
長期借入金の返済による支出	△64	△13
配当金の支払額	△449	△449
その他	△123	△107
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,281	△358
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△191	460
現金及び現金同等物の期首残高	7,836	7,549
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,645	8,010

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	79,672	3,166	345	83,184	-	83,184
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	27	0	39	67	△67	-
計	79,699	3,167	384	83,251	△67	83,184
セグメント利益	1,077	608	298	1,984	△574	1,410

(注) 1. セグメント利益の調整額△574百万円には、のれん償却額△6百万円、各報告セグメントに配分していない
全社費用△573百万円、その他6百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない
総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	80,448	3,499	159	84,107	-	84,107
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	29	0	39	69	△69	-
計	80,477	3,499	199	84,176	△69	84,107
セグメント利益	713	667	152	1,533	△660	872

(注) 1. セグメント利益の調整額△660百万円には、のれん償却額△6百万円、各報告セグメントに配分していない
全社費用△660百万円、その他6百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない
総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとののれんに関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

3. 補足情報

(1) 販売の状況

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (2018年4月1日から 2018年12月31日まで)	当第3四半期連結累計期間 (2019年4月1日から 2019年12月31日まで)	前年同期比
食品（酒類・飲料含む）	53,274	53,991	101.3
業務用商品	11,904	11,885	99.8
米穀	5,946	6,016	101.2
飼料・畜産	8,546	8,554	100.1
商事部門計	79,672	80,448	101.0
ホテル部門	3,166	3,499	110.5
不動産部門	345	159	46.3
合計	83,184	84,107	101.1